

設計課題「趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅」(木造2階建)

1. 設計条件

・妻の趣味であるフラワーアレンジメント専用の趣味室のある専用住宅を計画する。計画にあたっては、次の ~ に留意する事。

- 趣味室は教室も開いているので趣味室専用の入り口を設ける。
- 趣味室には水屋と倉庫を設ける。
- 趣味室の入り口と玄関ホールは出来るだけ離す。

(1)敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は下図の通りである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は 60%、容積率の限度は 200% である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び下水道は完備している。

(2)構造及び階数

木造2階建とする。

(3)延べ面積

130m² 以上、160m² 以下とする。
(ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)

(4)家族構成

親夫婦(50歳代)

(5)要求室

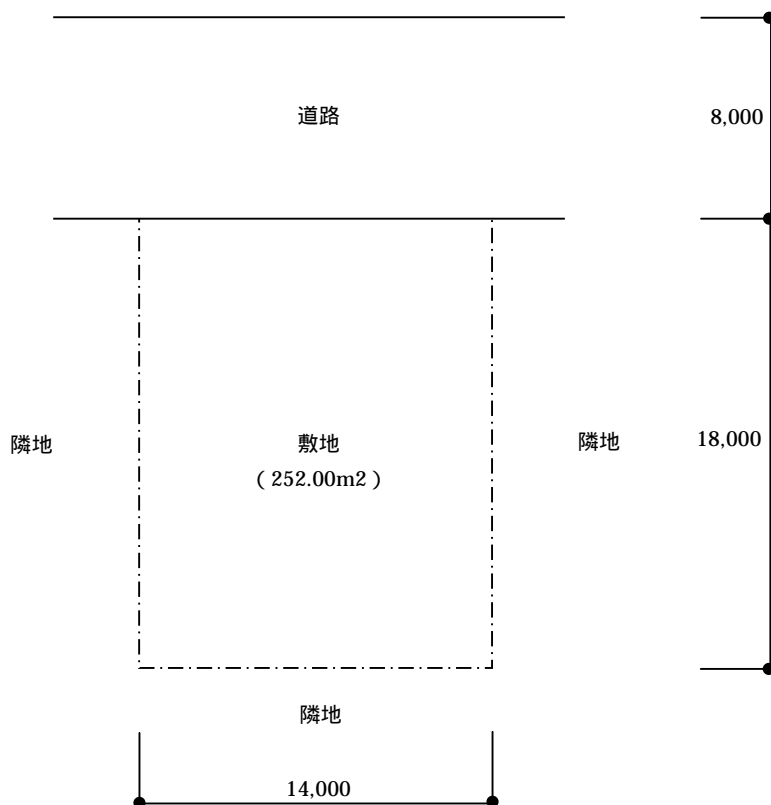
下記の所要室は、全て計画する。

		特記事項
玄関ホール 居間・食事室・台所	1階 1階	・住宅専用とする。 ア. 洋室 30m ² 以上とする。 イ. 対面キッチンとする。 ウ. その他に収納を設ける。
趣味室	1階	ア. 洋室 19m ² 以上とする。 イ. 趣味室には直接出入りできる専用の入り口を設ける。 ウ. その他に倉庫と水屋を設け、倉庫は水屋を 通って設けてもよい。
便所 浴室 洗面脱衣室	1階 1階 1階	・広さは、芯々 1,365 × 1,365mm 以上とする。 ・3m ² 以上とする。 ・3m ² 以上とする。
夫婦室	2階	ア. 夫寝室 13m ² 以上、妻寝室 13m ² 以上の2室 を設け、それぞれに扉を設けて1室でも利用 できるようにする。 イ. その他に収納を設ける。
予備室 便所 洗面室	2階 2階 2階	・洋室 9m ² 以上とし、その他に収納を設ける。 ・広さは芯々 1,365 × 1,365mm 以上とする。 ・コーナーでもよい。

・廊下の幅は芯々 1,365mm 以上とする。

(6)駐車スペース・駐輪スペース

・敷地内に小型乗用車(5人乗り)1台分と教室の生徒用の屋外駐輪スペース8台分を設ける。



敷地図(縮尺:1/300)

2. 建築物

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛りは 4.55mm (矩計図にあっては、10mm)である。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100) (2)2階平面図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に門、塀、植栽、駐車スペース等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 オ. 趣味室に、作業台(L1800×W900)を記入し、水屋にミニキッチンを設ける。 カ. 「通し柱」を印で囲み、「耐力壁」に印を付ける。 (注)「耐力壁」とは筋カイ等を設けた構造上有効な壁をいう。 キ. 2階平面図に、1階屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク. 矩計図の切断位置を記入する。
(3)2階床伏図兼1階小屋伏図 (1/100)	ア. 2階床伏図には胴差、床梁、2階根太等の名称及断面寸法を記入する。 イ. 通し柱、1階の管柱、2階の管柱の位置及寸法を記入する。 ウ. 1階小屋伏図の軒桁、小屋梁、小屋束、もや、たるきの名称及断面寸法を記入する。 エ. 小屋伏図には軒出及びその寸法を明示する。 オ. 2階床伏図、1階小屋伏図にはそれぞれ火打ち梁を記入する。
(4)矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1・2階の開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は柱芯から 1,000mm 以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、柱、大引き、1階根太、胴差し、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部分(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、上記のほか、下記による。

北海道の試験

(1)設計条件

北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。

(2)要求図書の特記事項

- ア. 平面図に、暖房設備の方式又は機器を記入する。
- イ. 矩計図に 想定した凍結深度 基礎の凍上防止措置 壁、天井、床等の断熱、防湿等の防寒措置を記入する。

図面には必ず、住所・氏名・メールアドレスを記載すること。

添削締切9月13日消印有効です。速達で送らなくても結構です。

4つ折角2号封筒程度でお送りください。

